

基礎巾木専用
意匠性塗材

サンドプロテクト

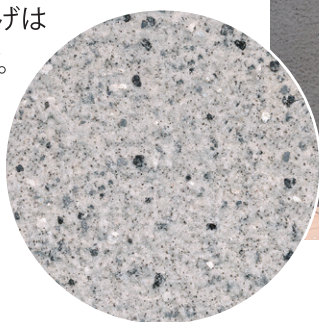
基礎の仕上げを 豪華に演出

基礎巾木部は、雨や湿気の影響を著しく受ける部位です。そのため塗膜は他の部位と比較して劣化が進行しやすく、ひび割れや塗膜の膨れなどの欠陥を生じる危険性が高くなっています。サンドプロテクトは、塗膜に通気性を持たせることにより、水分の影響を受け難い塗膜構造を実現しました。更に土台を支えるコンクリート基礎部に必要とされる中性化抑制機能を兼ね備え、建物の保護に大きな役割を果たします。また、意匠性にも優れた石材調の重厚感あふれる基礎を演出します。

特長

1. 優れた意匠性

石材調の重厚感のある仕上げは基礎巾木を豪華に演出します。



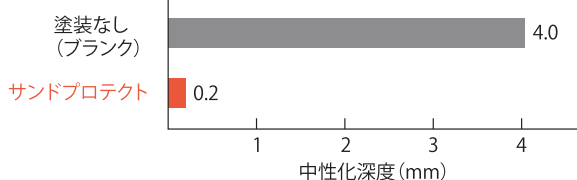
住宅の基礎巾木部

2. 中性化抑制

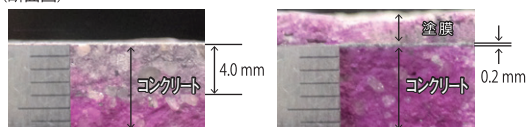
水分や炭酸ガスの浸入を防ぎ、コンクリートの中性化を抑制します。

中性化抑制試験

(社内法:60日後試験結果)



(断面図)



※写真中のゲージ(左部)は、1目盛り=1mm

3. 高耐久性

耐候性の高い特殊シリコン樹脂の効果により、長期に亘り高い耐久性を発揮します。

4. 優れた下地追従性

微弾性により、優れた下地追従性を示します。

5. 優れた透湿性

高い透湿性により、膨れなどを抑制します。

6. 防かび・防藻性

特殊設計により、かびや藻類などの微生物に対して強い抵抗性を示し、長期に亘り衛生的な環境を維持します。

7. 作業性

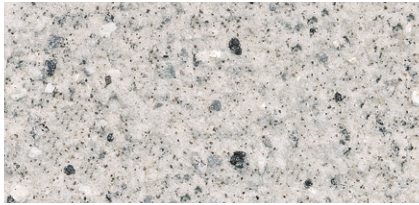
意匠性塗材でありながらローラー仕上が可能であり、作業環境の改善にもつながります。

用途 住宅の基礎巾木 (コンクリート、セメントモルタル)
※絶えず結露するなど湿潤環境にある基礎部分には塗装しないでください。

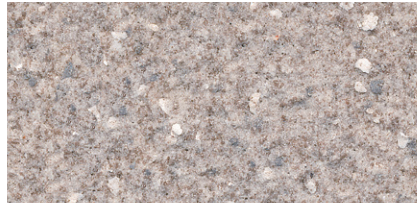
荷姿 SKサンドカラーベース 16kg石油缶 (標準塗坪:64~80m²/缶)
サンドプロテクト 20kg石油缶 (標準塗坪:7~9m²/缶)

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

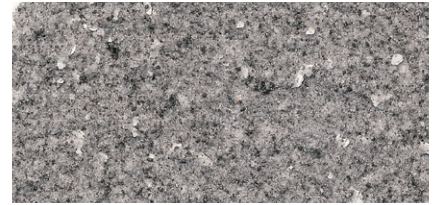
標準色



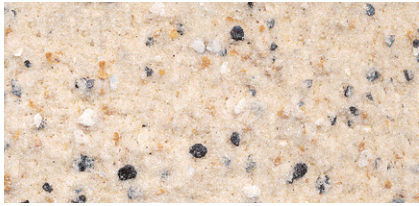
SDP-001



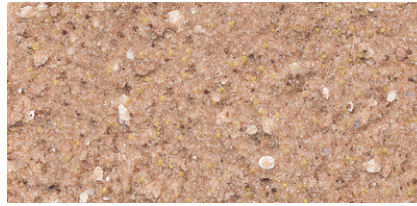
SDP-002



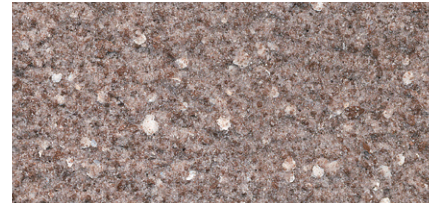
SDP-003



SDP-004



SDP-005



SDP-006

※写真は印刷のため、実物と多少異なる場合があります。ご注文の際は必ず実物見本等でご確認ください。

標準施工仕様

●改裝仕様

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
下地調整	●高圧水洗浄（10～15MPa）後は十分に乾燥させてください。 ●表面汚染のひどい部位は、SKクリーナースーパーにて事前に洗浄してください。 ●幅0.5mm以上のひび割れが認められる場合は、Vカット処理し、弾性パテ等で充填処理する等、適切な処理を行ってください。 ●エフロレッサンスの析出や流出が認められる場合や付着物が認められる場合は、ワイヤーブラシやサンドペーパー等により十分に除去してください。 ●浮きが認められる場合は、はつり除去後、ミラクファンD KC-3000などで補修してください。							—	
1	下塗り ^{※1}	S K サ ン ド カ ラ ー ベ ー ス	100	0.20～0.25	1～2	2以上	2以上	—	ウールローラー 刷毛
		清 水	5～10	—					
2	主材塗り	サ ン ド プ ロ テ ク ト	100	2.2～2.6	2	4以上	—	24以上	M-9ローラー (マスタックローラー) 刷毛
		清 水	6～8	—					

注1) 下地が脆弱な場合は、事前に★液マイルドシーラーES (14kg石油缶) をご使用ください。
注2) 改裝時及び下地の種類によっては、下塗材の選定が必要になります。所定の下塗材を塗付後、SKサンドカラーベースをご使用ください。詳しくは最寄りの営業所までお問い合わせください。
注3) 新築仕様については最寄りの営業所までお問い合わせください。

施工上の注意事項

- ※ 1. SKサンドカラーベースの色目は、サンドプロテクトと共色になっています。
- ※ 2. 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ※ 3. 防かび・防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび・防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- ※ 4. かびや藻が付着している場合は、SK Kカビ除去剤#5 (塩素系) にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- ※ 5. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- ※ 6. 塗り重ね時間は環境 (温度、湿度、換気、風通しやすさ) や膜厚によって変わります。
- ※ 7. 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- ※ 8. ロットが異なる材料は、色目が若干異なる場合がありますので、同一面での複数ロットの使用を避けてください。
- ※ 9. 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ※ 10. 刷毛で補修塗りを行う際、ローラー塗りと仕上がりの違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
- ※ 11. 補修塗りの際、仕上がりの違いにより、若干の色目の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がりを確認した上で希釈量等を決定してください。
- ※ 12. 大壁面では、補修部分が目立つ場合がありますのでご注意ください。
- ※ 13. シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※ 14. 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- ※ 15. 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- ※ 16. 塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- ※ 17. 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生などにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- ※ 18. 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるように攪拌してください。また、仕上がりに影響を生じる場合があるため、施工の際は、攪拌・希釈等の条件は統一する様にしてください。
- ※ 19. 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上の施工は原則的に避けてください。気温5℃以下での施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- ※ 20. 材料は使用前に内容物が均一になるように攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所にて保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- ※ 21. 土壌に接触するよう立ち上がり部位では、直接土壌に接触しないように施工してください。また、下地の汚れやほこり、ごみなどは、ブラシ等により十分に洗浄し、下地の乾燥を十分に行ってから塗装してください。
- ※ 22. 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

危険情報と安全対策

製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。特に★印のついている製品は溶剤形の製品であるため、下記の点にご確認ください。

1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないよう十分注意してください。

※ 屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

